

(社)兵庫県測量設計業協会会員
有限会社 倉本測量
Kuramoto Survey work Co., Ltd.

2017年度 環境活動レポート

(対象期間：2017年9月～2018年8月)



発行日：2018年12月21日

改訂日：2019年2月21日

ごあいさつ

有限会社倉本測量は、近畿地区を活動範囲とし、測量・設計・GNSS作業を通して社会貢献できるよう努力している企業です。平成4年の設立以来、多くのお客様から絶大な信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で25年を迎えました。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境関連法守り、電気・ガソリン・軽油の使用量の削減、一般廃棄物の削減、排水量の削減を推進し、グリーン購入にも参加し、地域の美化活動にも積極的な参画することにより、環境保全に取り組み推進します。

環境方針

当社は地形の測量・設計を主とする事業活動において、環境保全に取り組むことにより、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する（電気、ガソリン）
3. 廃棄物の削減及び再生利用を推進する
4. 水道使用量の削減を推進する
5. グリーン購入を推進する
6. 測量における環境上の配慮に努める
7. 地域美化活動へ参画を行う

制定日：2011年7月1日

改訂日：2015年12月4日

代表取締役社長 倉本 規

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
有限会社 倉本測量
代表取締役社長 倉本 規
- (2) 所在地
本社 〒669-3166 兵庫県丹波市山南町小野尻 1 1 8
営業所 〒669-3157 兵庫県丹波市山南町和田 1 2 4 9 - 1
- (3) 環境管理責任者・担当者氏名及び連絡先
責任者 測量部長 倉本 規
担当者 測量部 倉本 亘
TEL:0795-76-1699
FAX:0795-76-1704
- (4) 事業内容
測量・設計・GNSS・3D動画撮影・太陽光発電による売電
- (5) 事業の規模
年間測量高 60,540千円 (平成29年度実績)

	本社	営業所
従業員	8名	無人
延べ床面積	80㎡	30㎡

- (6) 事業年度 9月～翌年8月
2017年度とは、2017年9月～2018年9月を意味する。

認証・登録の対象範囲

登録組織名： 有限会社 倉本測量
対象事業所： 本社、営業所
活動： 測量・設計・GNSS・3D動画撮影・太陽光発電による売電

アクセス



主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度 基準年度	2017年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	14,358	10,441	11,717	13,485
電力	kWh	12,243	8,622	7,931	8,117
ガソリン	L	3,980	2,945	3,619	4,347
軽油	L	0	0	0	0
廃棄物排出量	kg	182	178	183	157
一般廃棄物	kg	182	178	183	157
産業廃棄物	kg	0	0	0	0
総排水量	m ³	433	444	454	479
化学物質	kg	0	0	0	0

環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目	年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
		基準年度			
・二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	11,717	11,601	11,484	11,365
	対基準		99%	98%	97%
電力使用量	kWh	7,931	7,852	7,772	7,693
	kg-CO ₂ 対基準	3,315	3,282	3,249	3,216
ガソリン使用量	L	3,619	3,583	3,547	3,510
	kg-CO ₂ 対基準	8,402	8,319	8,235	8,149
燃費	km/L	12.5	12.5	12.5	12.5
	対基準		100%	100%	100%
・廃棄物排出量					
一般廃棄物	kg	183	181	179	178
	対基準		99%	98%	97%
・水使用量	m ³	454	449	445	440
対基準			99%	98%	97%
・グリーン購入	品目	53	54	55	56
対基準			102%	104%	106%
・測量における 環境配慮	回	164	166	167	169
対基準			101%	102%	103%
・地域美化活動 への参画	回	12	12	12	12
対基準			100%	100%	100%

本年における電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、関西電力2017年度実績の調整後排出係数0.418kg-CO₂/kWhを使用

(2)2018年度の実績

項目	年度	2016年度	2017年度における実績 (2017年9月～2018年8月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	11,717	11,601	12,464	93.1%	×
	対基準		99%	106%		
電力使用量	kWh	7,931	7,852	8,117	96.7%	
	kg-CO ₂ 対基準	3,315	3,282	3,393	102.3%	
ガソリン使用量	L	3,619	3,583	4,347	82.4%	×
	kg-CO ₂ 対基準	8,402	8,319	10,092	120.1%	
月平均燃費管理	km/L 対基準	12.5	12.5	12.6	100.8%	
廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg	183	181	157	115.3%	
	対基準		99%	86%		
水使用量	m ³	454	449	479	93.7%	×
	対基準		99%	106%		
グリーン購入	品目	53	54	51	94.4%	×
	対基準		102%	96%		
測量における 環境配慮	回	164	166	197	118.7%	
	対基準		101%	120%		
地域美化活動	回	12	12	12	100.0%	
	対基準		100%	100%		

注)評価欄にて、○：達成(100%以上)、△：やや未達成(95%～100%未満)、×：未達成(95%未満)

一般廃棄物の削減に関しては、主となるコピー用紙を取組対象とした

グリーン購入における購入物品の合計品目は「51品目」であり、グリーン購入の割合は「55%」となった(総品目数:93)。

測量における環境配慮に関しては、以下の項目を取組対象とした

- 現場への最適経路での往復
- 不要な伐採の禁止
- 現地作業の効率化
- 燃費管理の導入

環境活動の取り組み計画と評価

よくできた ままできた あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
二酸化炭素排出量の削減 （目標未達成）		
・電力使用量の削減		目標はやや未達成であった。
・ガソリン使用量の削減		業務内容の拡大により、目標未達成であった。
・燃費管理		前年並みの燃費管理により目標を達成出来た。
		業務拡大による営業車の増加および遠方への移動が増加したため、ガソリン使用量が増加した。その結果、二酸化炭素排出量が増加し目標未達成であった。今後は従業員一同、二酸化炭素排出量の削減目標を達成するよう努める。また一方で、業務拡大に伴う新たな目標を設定することを今後検討する必要がある。
電力使用量の削減 （目標やや未達成）		
・空調の適正使用		空調の適切な使用と共に、緑のカーテンで直射日光を減らし温度調節に役立てた。
・業務の効率化		無駄な業務を減らし機器の使用を最低限に抑えると同時に余分なアイドルタイムが発生しないように気を付けた。
・不要照明の消灯		日中は照明を半分のみ点灯させる等の工夫で必要以上の電力消費が発生しないことを心掛けた。
・設備の空転禁止		退社時に使用機器のオンオフをチェックし、不在時の空調・照明停止を徹底した。
		各個別目標は達成したが、臨時業務等により電力使用量が増加した結果、目標がやや未達成となった。今後も個々の取組を引き続き実施し、電力使用量の削減目標を達成出来るよう努める。
ガソリン使用量の削減 （目標未達成）		
・移動コースの効率化		効率を考えた最短・最適な経路を意識した。
・不要なアイドルストップ		長時間のアイドルを避けて運転した。
・急加速・急停車の防止		急加速と急発進を控えて燃費の向上に配慮した。
・冷暖房の温度管理		適切な温度設定で空調機能を使用した。
・燃費管理		概ね目標とした設定範囲内での運用が出来た。
		各個別目標は達成したが、稼働人員の増加による新規車両導入で稼働数が増加し、トータルの排出量は目標をオーバーしてしまった。今後は従業員一同、二酸化炭素排出量の削減目標を達成するよう努める。また一方で、業務拡大に伴う新たな目標を設定することを今後検討する必要がある。
一般廃棄物の削減 （目標達成）		
・不要な印刷の削減		ミスプリントや不要な印刷が出ないように注意した。
・分別の徹底		地域指定の方法に沿ってごみを分別した。
・排出量削減の工夫		裏紙利用、両面印刷によって紙の消費が少なくなるように心掛けた。
		引き続き一般廃棄物の削減目標を達成できるよう努める。
水道水使用量の削減 （目標未達成）		
・節水の周知徹底		水の無駄遣いを無くし、節水を意識した水道利用を心掛けた。
・節水シールの貼り付け		節水の呼び掛けを掲示し、無駄の削減を周知した。
・清掃時・手洗い時の節水		効率的な清掃と水を垂れ流さないことに注意した。
		漏水の影響により、目標値を上回った。今後は漏水等の異常が発生した場合
グリーン購入の推進 （目標未達成）		
・事務用品の対象品目購入		グリーン購入の規格品を優先して社内での事務用品を選ぶよう心掛けたが、目標を達成することができなかった。
・低排出ガス車の使用		三台の低排出ガス車を使用している。
		今後は、グリーン購入規格品を購入するよう努める。

測量における環境配慮の推進		(目標達成)
・現場への最短経路での往復		無駄の少ない往路復路を意識して運転出来た。
・不要な伐採の禁止		選点や視通を工夫することで現場環境への影響を可能な限り小さくした。
・現地作業の効率化		余分な作業が生まれないように注意して行動した。
・燃費管理の導入		ガソリンの使用量を燃費と共に記録し、通年的な比較が可能になるよう管理した。
		引き続き各個別目標を達成するよう努める。
地域美化活動		(目標達成)
継続的な清掃活動		各月1回のゴミ拾いを実施した。今後も継続的に行う。

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集・運搬業者の許可の確認	遵守
消防法	消防用設備等の定期点検	遵守
フロンの排出抑制法	空調設備の定期点検と記録の保管	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
 なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

当社ではエコアクション21の導入以来、未来へ向けた継続的な自然環境の保護や良好で暮らしやすい地球環境の保全に向けた活動の大切さを理解し、取り組んで来ました。現在は各社員の環境に対する意識向上のために、勉強会や清掃活動、地域理解等の時間を確保し、学習の機会を可能な限り設けております。

参加当初と比べて環境活動にも積極的に取り組み、グリーン購入や地域清掃も継続的に行っています。

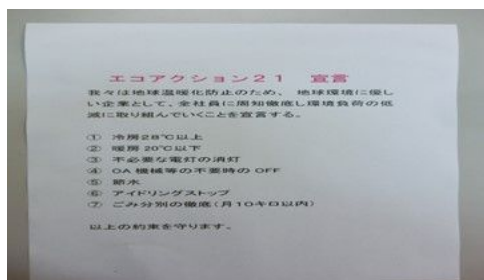
二酸化炭素の排出量については、業務の拡大および社用車の台数増加で未達成でしたが、電力消費量の削減については、やや未達成との結果となりました。この要因として業務拡大に伴い稼働時間が増えたため電力使用量が増加したことに加え、社用車を追加したことによるガソリン使用量の増加が考えられます。

また水道使用量に関して、弊社独自に使用量を発見できるような仕組みづくりを今後進めてまいります。

今回の結果を受け、従業員の環境対策への取り組みに対する意識をより一層高め、より気を引き締めて引き続き環境活動に臨んで参ります。

2019年2月21日 代表取締役社長 倉本 規

環境活動の紹介



<エコアクション掲示板>



<ごみの分別>



<省エネ(LEDの導入)>



<節水>



<清掃活動>



<ゴーヤの栽培>